

## 2018 春季生活闘争・闘争開始宣言 2.5 中央総決起集会 闘争開始宣言

「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場にたった働き方の見直し」を同時に推し進める 2018 春季生活闘争がいよいよスタートする。

日本経済は回復基調にあるが、依然として個人消費は伸び悩み、労働分配率は低下を続け、企業規模間や雇用形態間、男女間などあらゆる格差はいまだ解消されていない。

連合は、2018 闘争において「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを継続し、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」を組織内でさらに深め、社会のすみずみに広げていくことで、「賃金は上がるもの」という常識を日本全体に取り戻していかなければならない。

中小企業・非正規労働者も含めすべての働く者の処遇改善のためにも、「サプライチェーン、バリューチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」、すなわち、企業と企業、企業と消費者の間で「働き方」も含めた取引の適正化が必要であるということ、個別労使のみならず、社会全体に向けて、あらゆる機会を通じて働きかけていく。

あわせて、長時間労働是正および雇用形態間の均等待遇実現や雇用安定に向けて取り組み、すべての働く者の命と健康を守り、健やかで働きがいのある職場・社会を実現していく。

連合は、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、「クラシノソコアゲ応援団」として、一人ひとりが主体的に取り組む。連合本部、構成組織、地方連合会、各労働組合から職場に至るまで総がかりで行動し、最後の最後まで粘り強く闘い抜く。

連合は、ここに 2018 春季生活闘争の開始を宣言する。

2018 年 2 月 5 日

連合「2018 春季生活闘争・闘争開始宣言 2.5 中央総決起集会」